

市の人口	
(昭和59年10月1日現在)	
世帯数	51,523世帯 (前月比1.1世帯増)
人口	162,798人 (前月比143人増)
男	80,992人
女	81,806人

宇治市政だより

10/21

昭和59年
(1984年)

第681号

発行 京都府宇治市
編集 広報課
〒611 京都府宇治市宇治琵琶33番地
電話 (0774) 22-3141
●毎月1日・11日・21日発行



▲乾電池収集の啓発用看板が置かれたゴミ定点(10月16日、南陵町で)

筒型乾電池を収集

燃えるゴミの収集日に 11月5日から実施

市では、来る十一月五日から、筒型乾電池を有害ゴミとして分別収集します。使用済み乾電池は、処理する過程で含有水銀により、環境汚染を招く恐れがあると言われています。このことから、市民の皆さんの不安を除くため収集を実施。燃えるゴミの収集日のうち、月・火・水曜日に燃えるゴミと区別して収集します。住みよい環境づくりのために、ご理解とご協力をお願いします。

燃えるゴミと分け定点へ

来月一月中旬から実施する筒型乾電池の回収、使用済み乾電池の廃棄量の増加や、含有水銀による環境汚染への市民の皆さんの不安を除くため、燃えるゴミと区別して収集を行います。

こうなります…乾電池の回収



このため、不用になた筒型乾電池をゴミとして出す時は、筒型乾電池だけを専用のビニール袋に入れて口をしっかりと縛り、燃えるゴミと区別して指定箇所に集めます。

使用済みの乾電池を燃えるゴミとして出すことは、長い年月の間には乾電池の表面金属が腐食し、中から水銀が流れ出し、流れ出した水銀は有機物となり、将来、自然環境の破壊、生活環境の汚染をもたらす恐れがあると言われています。また、最近では乾電池の寿命を延ばすために、水銀含有量の多い水銀電池や鉛電池、アルカリ電池や鉛電池が

山崎町へ運ばれ、保管庫で一定期間経過後、北海道にある水銀回収処理業者に安全処理を委託するものになっています。



第3回市民スポーツまつり 秋空の下、歓声響く ——太陽が丘へ6,000人——

体育の日(10月10日)、宇治市民スポーツまつり。太陽が丘(丘)に約6,000人が参加し、秋空の下、歓声響く。市民スポーツまつり。太陽が丘(丘)に約6,000人が参加し、秋空の下、歓声響く。市民スポーツまつり。太陽が丘(丘)に約6,000人が参加し、秋空の下、歓声響く。

ゴミ 分別・水切り・再利用

ご協力ください

ゴミ対策は、都市問題の中で大きな課題となっています。市では、ゴミを出す前の「分別・水切り・再利用」を市民の皆さんに提言。各ご家庭でご協力ください。



▲古紙回収で資源の再利用を

燃焼・快適な生分解を促すために欠かせないのがゴミ処理。市では、毎増え続けるゴミに対応するため、市民の皆さんに「分別・水切り・再利用」の三つのルールを提言しています。

